

鬼怒沼山行報告

【山行日】2023年 9月 24(日) 快晴

【集 合】栃木市運動公園P AM 4:00

【費 用】マイカー2台 : 2,200円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL福島 青柳、
飯口、飯野、大塚、石澤、鈴木ミ、藤原ト

【コースタイム】栃木市運動公園P4:00＝

夫婦淵温泉 P5:45/6:05～八丁の湯 7:15/7:25

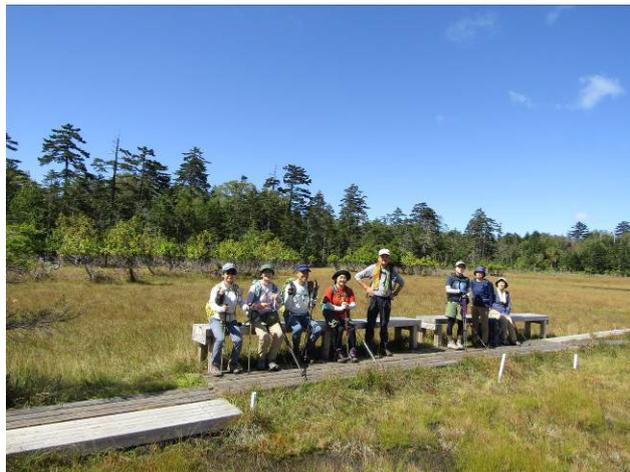
～日光沢温泉 7:55～オロオソロシの滝

8:55/9:05～鬼怒沼南端 10:05～鬼怒沼北端

10:25/10:35～中央ベンチ 10:45/11:15～

オロオソロシノ滝 12:15/12:25～八丁の湯

13:15/13:30～夫婦淵温泉 P14:35/14:50＝日光おかき 16:05/16:20＝栃木市運動公園P17:10



山行アンケートで鬼怒沼のリクエストがあり、草紅葉が始まるこの時季に計画した。鬼怒沼は初めての方が多く参加され、車2台に分乗し栃木市運動公園を4時に出発し、東北道から日光宇都宮道、国道121号線を経由し夫婦淵に向かった。川治温泉の先から県道23号線を進み、川俣温泉を経由して夫婦淵の駐車場に着く。広い駐車場はほぼ満車で、空いているスペース車を止め出発の準備を行う。トイレを済ませストレッチを行なったら出発し、橋を渡って奥鬼怒スーパー林道を進むとすぐ右側の金属製の階段を登って行く。階段の先から山道を進み、鬼怒川に架かる吊橋を渡って鬼怒川の左岸に渡り川沿いの道を進む。溪流沿いの道を気持ち良く歩き、ニツ岩橋を渡って一旦右岸に渡り、直ぐに砥ノ岩橋を渡って左岸に戻る。しばらく川沿いの道を進み、広く平坦な林の中の道を進むと八丁の湯に着く。石のテーブルとベンチで休憩し、ゼリーを食べ水分を補給する。ここからは広い砂利道を進み、鬼怒川を橋で渡ると加仁湯に出る。加仁湯の脇を通り、再び砂利道に出て10分程歩くと山奥の秘湯の雰囲気漂う日光沢温泉に着く。渡り廊下の下をくぐって裏に出て、斜面を登ると直ぐに分岐となり左側は根名草山、右側は鬼怒沼の標識があり右側に進む。分岐から少し歩くと吊り橋があり、左岸に渡って鬼怒沼への登りが始まる。豪快な流れを見ながら緩やかに進むと丸沼への分岐となり、ここは直進して鬼怒沼へと向かう。



ここからは樹林帯の急な登りとなり、皆さんの会話も途絶えて黙々と登って行く。30分程頑張つて登るとオロオソロシノ滝展望台に着き、ベンチとテーブルで休憩を取る。木製の展望台からは、オ



ロオソロシノ滝の白い流れを見ることが出来る。ここからも樹林帯の道を登るが、木製の階段や段差があり足に堪える。少しずつ傾斜が緩くなり、前方に青い空が見えると鬼怒沼の南端に出る。すぐ先のベンチで休憩し、景色を楽しみながら菓子をいただく。今日は絶好の登山日和に恵まれ、日光白根山や根名草山がくっきりと見ることが出来た。ここからは湿原に付けられた木道を進み、色付き始めの草紅葉を楽しみながら歩いて行く。北端に向かって歩

て行くと、左前方に尾瀬「燧ヶ岳」が姿を見せてくれる。北端まで行って引き返すと、池塘の水面に日光白根山の姿が映し出されている。初めての方達は「鬼怒沼は初めて来たけど、本当に素晴らしい所ですね」と感動していた。湿原の中央にあるベンチでランチタイムとし、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンをいただく。いつものようにお惣菜が沢山出され、皆さん美味しそうに食べていた。ランチが済んだら下山開始し、途中の池塘で水面に映る皆さんの姿をカメラに収める。皆さんも水面に映る姿をスマホで撮りたいと、1人ずつ撮影会が始まった。



ジャンプしたりポーズを取ったりして、水面に映る姿とダブルで撮れた写真を見て喜んでた。



撮影会が終わったら樹林帯の道を下って行くが、下りは楽しそうに会話が弾みとても賑やかである。オロオソロシノ滝展望台まで下り、小休止しておやつをいただく。日光沢温泉では宿の前にある清水で喉を潤し、風情ある建屋をスマホに収めていた。八丁の湯で最後の休憩を取り、持って来たおやつをすべて出してもらった。ここからは鬼怒川沿いの道を緩やかに下るので、皆さん楽しそうにおしゃべりしながら下り夫婦沢の駐車場に着いた。靴を履き替えてトイレを済ませたら帰路につき、往路

を戻って栃木市運動公園に向かう。途中、日光おかきに寄り、試食のおかきをいただきながらサービスのお茶やコーヒーを美味しくいただいた。土沢 IC から日光宇都宮道路に入り、東北道を通って予定より早く栃木市運動公園へ帰着した。